一宮西高新聞

発行所
愛知県立一宮西高新聞部
一宮市萩原町串作河田1
電話一宮（68）1191
株式会社 大東社
電話一宮（62）1168

卒業おめでとう

門出にあたって

校長 鈴木 英史

卒業おめでとう。今、旅立ちの時が訪れました。門出に際し、餞のメッセージを贈ります。

皆さんが西高に入学した頃、日本は、あの大震災による混乱の最中にありました。多くの物が失われ、テレビの悲しい映像が胸に突き刺さるように思えました。しかし、その中にあって、私達に勇気を与えてくれたのは逆境に立ち向かう人々の姿でした。命がけで人命救助にあたった自衛官や消防士。昼も夜も働き続けた医師や看護師。子供達を守り抜いた学校の先生。がれきの下から救い出される際、自分よりも他人を気遣ったお年寄り。空腹でたまらないのに、食料配給の長い列に整然と並ぶ人々。そこには、世界中が賞賛した、日本人の気高い生き方がありました。

震災の直後、ラジオにリクエストが殺到し、多くの人々を勇気づけた歌がありました。〝そうだ 嬉しいんだ生きる喜び たとえ胸が痛んでも〟。ご存知の「アンパンマンマーチ」です。作者のやなせ・たかしさんは、歌詞の中で私達にこう問いかけます。

「何のために生まれて、何をして生きるのか」。非常に深い問いかけです。やなせさんの答えは、「人を喜ばせること。人の為になること」だったのです。

私は、ここに、「いかに生きるべきか」の重要なヒントがあると思います。人生で大切なことは、日々の生活の中で、人を思いやり、人に尽くすことではないでしょうか。そこで得られる喜びが自身の幸せに繋がっていくのだと考えます。

実際にあった話を紹介します。ある中年夫婦が結婚二十周年を機に、これまでお世話になった方々に感謝の気持ちを込めて、結婚式に来てくれた皆さんに礼状を送ることにしました。ところが、夫方のご両親は既に亡くなっていて礼状を出しようがありませんでした。そこで、ご夫婦は「天国に届くかもと、礼状を書こう」と決めました。そして礼状の葉書を、送り返されるのを承知でお墓のある住所宛に送ったのです。しかし、その葉書は戻って来ませんでした。ご夫婦は不思議に思いましたが、このことを忘れていました。やがて、お盆を迎えました。いつものようにお墓参りに行ったご夫婦は、そこで思いもよらないものを見ます。両親のお墓の前にいつか書いた礼状がビニールで何重にも包まれ、風が吹いても飛ばないように大きな石を上に乗せて置かれていたのです。これを見たご夫婦は、例えようのない感動を覚えます。…一体誰がこのようなことをしてくれたのか？ひとことお礼が言いたいと、ご夫婦は墓地の管理人等に事情を聞いて回りました。そして分かったのです。全ては、郵便配達の方が差出人の思いを察して行ったことでした…。

私達は、一人の力で世の中を動かすようなことは簡単にできません。でも、人の心を動かすことはできます。皆さんは、人の為に尽くすというと大袈裟に感じるかも知れませんが、日々の生活の中にきっかけが潜んでいます。

そこで、皆さんにお願いがあります。この卒業という節目にあたり、皆さんの最も身近な方へ改めて思いを馳せてみて下さい。

〝一番大切なものは一番身近にいます。

あなたの為に苦労を重ねてきた人が近くにいます。

あなたを支え続けた人が目の前にいます〟。

その人はあなたの為に人生を懸命に生き抜いてきた筈です。感謝の気持ちを生涯忘れないで下さい。

皆さんの人生行路に幸多かれと祈っています。

「チャレンジを続けよう」

3年学年主任 丹下 由男

卒業おめでとう。四十九回生諸君の新たな門出を心より祝福します。西高は自らが求めさえすれば、学習・部活動・学校行事すべてに打ち込むことができる学校です。忙しい学校生活ではあるけれど、逃げずに立ち向かった生徒ほど、充実感は大きいはずです。入学してからの三年間、皆の成長を肌で感じることができ、私にとっても充実した時を過ごすことができました。西高では「受験は団体戦」と称しているのですが、これは必ずしも「皆が同じことをする」ということではありません。各自がそれぞれの目標に向かって努力する際、相手を尊重し、互いに支えあうことを意味しています。三年生になってからの学校生活は全体的に落ち着きがあり、団体戦ということが実感できるものでした。特に、大半の生徒から「西高が好きである」と、感じられたことは、私にとって大きな喜びです。実は、予餞会の場でこのことを話したかったのですが、残念ながらインフルエンザで欠席したため、この紙面に記させてもらいました。

人は誰でもすぐに結果を求めたがるものです。すぐに答が得られる方法を教えてくれる人、自分のとるべき方法について断定的に指示してくれる人を頼もしいと感じ、逆にじっくり考えることを要求してくる人をまどろっこしく感じ、敬遠してしまうことはないでしょうか。しかし、最初から効率よく活動することなどできるものではありません。自分が今なすべきことに常に前向きに取り組むことが大切です。一見無駄だと思われることでも、常に疑問を持ち考え続けることで、初めて重要な本質に気づくことも多いものです。また、前向きに行動して起きた失敗は、改善すべき点を見つけられるものであるし、時には自分にとって重要な発見につながることもあるのです。苦労して自分が求め続けたことは、生涯自分にとって心の支えとなります。その際、自分一人でだけで悩むのではなく、仲間とともに支えあうことは大きな助けとなります。卒業後も、西高時代の経験を生かし日々努力を重ねて下さい。そして、校歌にもあるように、久遠の真理を求め続け、今後の社会を担うリーダーとして活躍されることを期待しています。

郷土歴史 74

水・歴史・人　織りなす都市　清須

私達新聞部は、今回の取材旅行で清須市を訪れた。清須市は、慶長年間には城下町一帯が「関東の巨鎮」と称され文化の中心地として、また尾張の要所として栄えた歴史がある。

私たちは名鉄新清洲駅に集合し、清洲城を目指して歩いた。五条川に沿って歩く途中、五条橋西詰めに立つ石碑には「清洲古城跡」と書かれていた。「清洲古城跡」については1405年築城、15～17年にかけて、長らく尾張の中心に位置付けられた。城郭の遺構はほとんど失われ、さらに、JR東海道線と新幹線によって分断されてしまっている。1610年に徳川家康によって行われた名古屋への遷都「清洲越し」では、城そのものはもちろん、武家から町家、寺社に至るまで全て引っ越してしまった。「思いがけない名古屋ができて、花の清洲は野となろう」と歌われたほどで、城下の街は数年のうちに廃墟となってしまったという。

清洲城

さらに進むと、清洲城に到着した。

清洲城と言えば、映画にもなった信長の跡目を決める「清須会議」が有名である。清洲城模擬天守は1989年に当時の清洲町によって建てられ、そこには様々な展示があった。1階には、古代や中世の物など、昔に使われていた道具、甲冑が展示されていた。

2階には、戦国時代の清洲城下の喧騒や信長公麾下武将たちの暮らしなどがわかるものがあり、清洲城と城下町の歩みを体感できる「清洲城バーチャルウォークゾーン」があった。また「戦国中スポーツ」という昔のことが現代風に書かれているとても面白い新聞があった。もし、昔の人が号外を配っていたら「号外じゃあ！号外じゃあ！」と言っていたのだろうか。

江さんによる「清須会議」

3階に行くと大河ドラマに出た人の紹介文とその時の服装や火縄銃の扱い方などが展示してあった。また、「清須会議」という紙芝居も行われていた。それを読んで下さったのは武将隊の一人で「江さん」という方であった。「清須会議」を全く知らない私でもよく分かる内容で、楽しく見ることができた。

4階に行くと「信長公吉例太鼓」という太鼓が置いてあった。この太鼓は、連戦連勝をおさめた信長公の出陣太鼓にちなんで、自身の夢の達成や勝利を祈願して太鼓を叩くらしい。私も夢のために思い切り叩いた。次に、天守閣にあった金の鯱を皆で触った。天守閣からの眺めは昔と今が入り混じっているような感じで不思議だった。

再び1階へ行くと、「江さん」ともう一度会えたので部員が一緒に写真を撮ってもらった。

さらに芸能文化館へ行き「黒木書院」で甲冑と打ち掛けの試着体験をした。立ち方などその服装での正しい姿勢を教わった。初めての甲冑体験だったので、見た目からしてどんなに重いだろうと思っていたが、着てみると予想より軽くて記念に写真も撮った。係の方にお礼を言い、清洲城をあとにした。

部員による甲冑試着体験

次に向かったのは、「清洲ふるさとのやかた」であった。そこには、清洲名物のもなかや漬け物などが売られていて、各々土産を買った。私は名物の「山ごぼうの味噌漬け」を買った。味は、思ったよりすっぱかった。

お茶を飲んで、一休みしながら次の行き先について話し合った。行列ができる「信長ラーメン」に決定した。地図で見たら遠いかなと思っていたが、実際に歩いてみるとそこまで遠くないなと思った。店に着くとたくさんの車が停まっていた。外から見てもとても繁盛していることが分かり、中に入って私たちはそれぞれ注文した。先生は店の一番人気の赤いラーメン、部員二人は、極塩ラーメン、玉子とじラーメン、私は、江ラーメンを注文した。赤いラーメンを食べる時は紙エプロンも付けてくる心遣いに感動した。江ラーメンはピリ辛であったが十分堪能できた。

そして私たちは、「清洲貝殻山 貝塚資料館」に行った。そこは、弥生時代有数の環濠集落とされる朝日遺跡内にある。朝日遺跡は周囲に堀をめぐらした環濠集落の跡で、約2200年前の弥生時代前期に集落ができたとみられる。東西1・4キロ、南北0・8キロで最盛期の推定人口は約1000人。邪馬台国との関連も指摘されて佐賀県の吉野ケ里遺跡に匹敵する規模で、全国で初めて発見された大規模な防御施設は弥生時代に争乱が頻発していたことを示す貴重な史料となっている。2012年には出土品約2000点が国の重要文化財に指定された。資料館の中には木製の農具や出土遺跡などが展示されていた。勾玉などが置いてある所では、とても驚いた。人骨があったからだ。

さらにどうしても気になったので「ふるさとのやかた」の下にある甲冑工房でお話を聞いた。戦国時代以前では一つ一つ長く時間をかけて作っていたが、以後は甲冑を量産するようになったことや時代によって甲冑の素材が違っていたことなどを聞いた。知らないことだらけでとても新鮮な気持ちで聞くことができた。

その工房を出た後、清洲公園に行って信長公の銅像と濃姫の銅像を見た。信長公の銅像は桶狭間の戦いに出陣する姿だった。

最後に、老舗の「不二屋」へ行って、清洲名物の清洲城をかたどった最中と「信長もなか」を買った。そして、新清洲駅へと向かい、取材旅行を終えた。

今回取材した所以外でも有名な場所はたくさんある。今度機会があれば寄ってもらいたい。きっと偉人が感じた空気を感じることができるだろう。（岩田）

取材感想道の記は裏面で！

論説 勉強法考察論

西高といって私が最初に思い浮かぶのは「勉強」である。多くの人は同じことが思い浮かぶだろう。西高生は勉強を頑張っている人がとても多い。1日の勉強時間が3時間を超す人はざらにいるだろう。しかし、その中には1日に短い時間しか勉強をしない人もいる。そのような人でもテストの順位が上位に食い込んで長時間勉強している人たちに勝つ人が稀にいる。なぜ彼らは、勉強時間が短いにも関わらずいい結果を残すことができるのだろうか。そのような人物は2つのパターンが考えられる。

1つ目は、単純に地の頭がいいということだ。このような人物は、少しの量をこなせば大抵のことを理解し使いこなせてしまう。だから、短時間でもいい結果が残せるようになるのだ。

2つ目は、地の頭は普通でも勉強のやり方の要領がいいということだ。短時間でも理解し使えるようにするために重点的に重要なポイントを集中して覚えていく。

勉強してもなかなかテスト・模試の順位や偏差値が思うように上がっていかない人たちでも、後者の人の勉強方法を真似してみたら成績は上がるだろう。そこで効率いい勉強方法の例を少し挙げてみよう。

勉強はどんなに長時間やってもダラダラやっていたら効果はない。勉強時間が延びれば延びるほど、どうしても集中力が途切れていき、他のことに目が行ってしまうから、問題を解いてもあまり意味はない。人間の集中力はもって2時間が限度。例えば1時間やったら30分間の休憩を挟むなどこまめに休みながらやるとする。同じ時間勉強した人に比べたら、休憩せずに勉強をした人より休憩を挟みながらやる人の方が勉強の効果が現れるだろう。

また、集中力のことを考えると決めた時間に1つのことしかやらないということも効果的だ。「これから50分は数Aの確率をやるぞ」などのように決めることで他の教科や範囲に気が行くのを防げるからだ。短い時間の中であれこれやろうとすると、そのたびに集中力が途切れてしまい、勉強の効率が非常に悪くなってしまう。そうかといって、目標時間が長すぎるとやる気がそがれてしまい逆に集中できなくなるので注意が必要だ。

記憶をするときは音が重要だ。英単語や社会の用語を暗記するときノートに書いて覚える人は多いと思うが、さらに英単語や社会の用語を声に出しながらやることで暗記の効率は増加する。

英単語を覚えても1週間後には「これってどういう意味だっけ？」などの経験をしたことがある人は多いだろう。なぜなら人の記憶は時間が経つにつれ消えていってしまうものだからだ。1回目で全部覚えたとしても20分後には、42％を忘却し、1時間後には、56％を忘却し、1日後には、74％を忘却し、1週間後には、77％を忘却し、1ヶ月後には、79％を忘却しており21％しか覚えていないということが分かっている。だから重要な部分は短期間で繰り返し覚えるようにする。短期間で繰り返し覚えることにより忘れる量が減っていき、長期記憶となり、そうそう忘れなくなるのだ。

次に、ノートを書くときは青のペンで書くと記憶が定着しやすいらしい。青色は人をリラックスさせる効果があるので、青で文字を書き、それを目にすることにより覚えやすくなるそうだ。ツイッターやフェイスブックのロゴが青いのも覚えやすいようにということかもしれない。

また、勉強すると疲れて眠くなる。睡魔を抑えて勉強を続ける人も多いだろう。しかし、睡眠時間を削って勉強するのはお勧めしない。睡眠は生物にとって必要不可欠なことであり、脳は寝ている間に勉強したことを整理し、記憶に定着させる。どんなに勉強したくても最低6時間は睡眠時間を確保すべきである。さらに、睡眠を削ることで、日中の勉強においてやる気、元気、集中力が低下し勉強効率が激減する。

徹夜は絶対してはいけない。なぜなら徹夜の利点としては終わっていない週末課題を片付けるくらいしかなく、欠点が多いので理にかなわないからだ。睡眠時間が削られれば記憶もなかなか定着せず、日中の集中力や理解力にも悪影響が出る。その結果、睡眠時間を削っての徹夜で詰め込んだ知識は脳で整理、記憶されにくいために〝忘れやすい〟。体力も低下し病気になりやすく、しかも試験はだいたい午前中からあるので試験中に睡魔に襲われて気が付けば試験が終わっていたなんてことがあったら悲劇である。

進級・進学のこの機会に1度自分の勉強法を見つめ直し、これらの勉強方法を試しながら自分に合った勉強法を探していくのはどうだろうか。（今井）

作

▼新幹線。高倉健。国立競技場。あなたはそれを聞いた時、何を思い浮かべるだろうか。▼昨年、東海道新幹線は開業50周年を迎えた。中日新聞で「新幹線の思い出」の企画があった。尋ねられた男性は「新幹線の思い出は青春の思い出」ときっぱり。彼は若い頃、今の奥さんと遠距離恋愛をしていた。なかなか会えない2人をつないだのは新幹線だった。2時間揺られて彼女は彼に会いに行った。冒頭の3つはそれぞれに誰かの青春の1コマに在るものなのかもしれない。▼最近、「青春」という言葉は旬だ。昨年の秋にTBSの日曜劇場で宮藤官九郎脚本、関ジャニ∞の錦戸亮主演の「ごめんね青春！」が放送された。また、大人気少女マンガ「アオハライド」が本田翼主演で上映されている。▼ドラマ「ごめんね青春！」の中で「大人になってから思い出してみると、青春は腑に落ちないことばかりだった」と女教師、蜂矢りさは語る。理不尽な目に合ったり、辛かったり、生きている意味がわからなかったり。また、それに盾突いたり。どうして上手に立ち回れないのだろう。そう悔やんだり。しかし、上手に立ち回れるのは大人という証拠だ。大人ではないが、もう子どものように無邪気に笑っているわけにもいかなかったあの頃は1秒1秒が青春だった。こう彼女は述懐している。▼「青春なんだからもっと楽しみなさい」なんて大人は言うが、青春なんてそんなにいいものじゃない。毎日、悔しくて涙を流し、他人の模試の点数をうらやみ、他人を見下さないと自分がなくなるような気がして。自分が青春の真っ只中にいるなんて気づきもせず。自分が青春に乗っていたことに気がつくのは、きっと青春が終わってからなのだろう。▼先日、駅から出てきた私は、青春真っ只中の2人組を見た。カップルが駅でいちゃいちゃしていたわけではない。なんと自転車に乗った男子高校生2人が、あろうことか特急電車と駅まで競争していたのだ。「やべぇ。こいつムッチャはぇー」などと叫びながら全力疾走する2人の姿は青春以外の何物でもなかった。むろん、「今青春している」などと微塵にも思っていなかったであろうが。▼気づかなくてもいい。がむしゃらに突き進もう。一生に一度の青春に乗れ！（足立）

教科書・補助教材・一般書籍・雑誌
文具・事務用品・家具・教材
松清本店
稲沢市高御堂1-2-1
電話 0587-32-0048
FAX 0587-21-7419

計量器・OA機器
事務・学用品・書籍
紙徳商店
一宮市萩原町萩原
TEL 68－0034
69－4121
FAX 69－2466

Rice Creation

共和食品グループ
本部 共和食品工業株式会社
愛知県一宮市萩原町萩原183番地 TEL(0586)69-0001
給食事業 株式会社共和フードサービス TEL(0586)69-0001
米穀精米事業 山水米本舗株式会社 TEL(0586)69-0002
米穀小売事業 共和食品株式会社 TEL(0586)69-0002
インターネット直販事業 吟米本舗株式会社 TEL(052)220-3188
米穀卸事業 株式会社名古屋食糧 TEL(052)581-0351
食品加工事業 エイティエイト株式会社 TEL(0586)69-7777
米飯事業 エイティエイトジャパン株式会社 TEL(0561)67-8800
営業所／東京・静岡・石川・大阪

購買で
飲み物を販売しています
自販機の利用もよろしく
笑顔のそばに
MEGMILK
メグミルク君島
46－3362

特集 西高生意識調査！ バレンタインデー ホワイトデー

やってきましたこの季節！
やはり2月、3月といえば、バレンタインデー、ホワイトデーですよね！とはいっても、もうバレンタインデーは終わってしまいましたが…。
ということで、今回はバレンタインデー、ホワイトデーについてアンケートをとってみました。
ご協力いただいたのは、1年3組、9組、2年1組、5組のみなさんです。

◆VD、WDの起源とは？

日本では、普通にイベントとして行われているバレンタインデー、ホワイトデーですが、そもそも起源は何なのか？一度は疑問に思ったことがある人もいるでしょう。私も気になったので調べてみました。

まず、バレンタインデー。ところで、みなさんはバレンタインという人物をご存じでしょうか。このバレンタインという人物は、キリスト教徒であり、ほかでもない、バレンタインデーの生みの親であるのです。バレンタインは、結婚が禁止されていた3世紀のローマで、若者たちを哀れに思って密かに結婚させていたのです。当時の皇帝はこんなバレンタインを許すはずもなく、捕らえて処刑します。この処刑が行われた日が2月14日。

時は流れ、現在のキリスト教で2月14日は、恋人たちがギフトやカードを贈り合う日となっています。そして、日本では1950年代から製菓会社やデパートなどで行われたキャンペーンや広告によって、バレンタインデーは『女性から愛する男性へチョコレートを贈る日』として定着していき、本格的に広まったのは1970年代だそう。

次に、ホワイトデー。これには諸説ありますが、日本でのバレンタインデーの定着に従って、菓子業界でそれにお返しをする日を作ってはどうかという案が出され、これを受けた菓子業界が個々に独自の日を定め、ビスケットやマシュマロ、キャンディ等を「お返しの贈り物」として宣伝販売するようになったことが始まり。

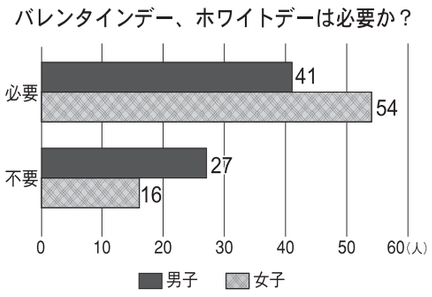
◆VD、WDは必要？不要？

そもそも、西高生のみなさんはバレンタインデー、ホワイトデーは必要だと思っているのでしょうか？

アンケートの結果はグラフの通りで、全体的に見て圧倒的に多いのが「必要」という回答。これについての理由には、「チョコなどのお菓子を食べることができるから」、「イベントとして楽しめて、盛り上がれるから」、「気持ちを伝えられる良い機会だから」などというものがありました。また、なかには「お菓子業界の利益のため」というように現実的なものもありました。確かにバレンタインデー、ホワイトデーの歴史を追っていけばその通りだということが分かりますね。

また、「不要」という回答も案外多くありました。これには、「なくても別に困ることはないから」、「返すのが面倒だから」、「お菓子を作るのが大変だから」というものがありました。「返すのが面倒だから」というのは、ホワイトデーにお返しをしなくてはならない男子ならでは、「お菓子を作るのが大変だから」というのは女子ならではの理由ですね。

その他に、自分には縁がないからというような趣旨の男子の回答を見ていると、少し切なくなりました…。しかし、本当に全く縁がないという人はほとんどいないのではないでしょうか？



◆誰に渡す？誰にもらう？

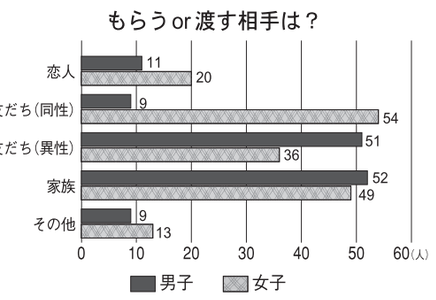
みなさんは誰に贈り物をもらったり、渡したりしているのでしょうか。グラフから、全体的に見るとかなり票が割れているようです。では、男女別に見てみましょう。

男子は、「異性の友達」、「家族」が多数。義理チョコですね！女子は、多い順に「同性の友達」、「家族」、「異性の友達」。

「同性の友達」という回答が多いのは、「友チョコ」というものが若い人たちに定着したのが理由だといえるでしょう。また、女子のみなさんは、毎年義理チョコをたくさん作ったりしていますから、「家族」、「異性の友達」は多くなったのでしょう。

そして、男女ともに一定数あったのは、やはり「恋人」。これぞバレンタインデー、ホワイトデーですね！

そのほかにも、男子には後輩、友達の妹、知り合い、習字の先生、女子には先輩、先生、親戚などの回答が見られました。やはり、誰しも何かと縁があるように思えますね。



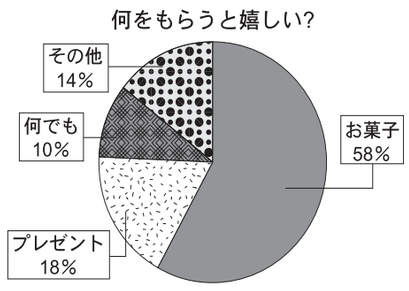
◆何をもらうと嬉しい？

みなさん、いろいろな人から贈り物をもらったことがあるようですが、実際何をもらったら嬉しいのでしょう？

結果は、男女問わず「お菓子」が圧倒的に多数で、なかでも、やはりチョコレートが人気でした。他にはクッキーやキャンディなど。これらも定番ですよね。

次に、「プレゼント」という回答。こちらも一定数ありました。手袋、マフラー、アクセサリー。使えるものが欲しいという回答が見られました。確かに、プレゼントならお菓子とは違って手元に残しておくことができますからね。

そして、「その他」に含まれる回答の中には、「愛」、「感謝の気持ち」など。「もらえたら何でも嬉しい」という回答からは、やはり何よりも大事なのは「気持ち」なのだと感じられます。



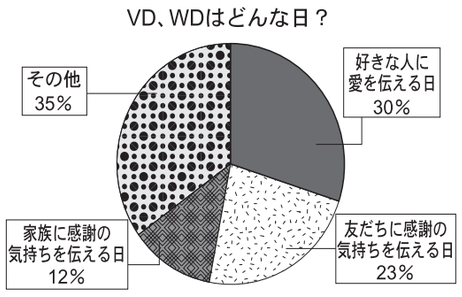
◆VD、WDってどんな日？

最後に、みなさんはバレンタインデー、ホワイトデーをどんな日だと考えているのでしょう？

結果はグラフの通り！これもかなり票が割れました。これに関しては、人それぞれ考えが違っているのでしょう。

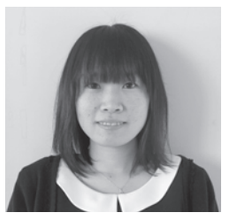
「その他」の回答には、「チョコをあげる日、食べる日」といった、イベントとしてこの日をとらえているものと、「リア充がさらに充実する日」、「改めて自分がひとりだと感じる日」といった、少し苦いものもありました。

他には、「意味もなくそわそわする日」、「もらえないと分かっていてもちょっとだけ期待しちゃう日」というものも。まあなんにせよ、きっと楽しんだもの勝ちですよね。



今回のアンケート、どうだったでしょうか？西高生のバレンタインデー&ホワイトデー事情、みなさんにとって興味深い内容になっていたら幸いです。余談ですが、お隣の韓国では、「ブラックデー」、「オレンジデー」なんていう日もあるそうですよ。どういう日なのか気になれば、ぜひ調べてみてください。（木全）

MY SCHOOL DAYS



加藤 江梨奈 先生

大好きな部活の話をしたいと思います。私は美術部に所属していました。入部したら、異空間ですぎて、何より先輩達や同学年の部員達のキャラがこれでもかというほどに濃くて顧問の先生も個性的で、最初は戸惑いを隠せませんでした。テ、テンション高い…。正直引いていました。でもあっという間に染まりました。お祭りのようなテンションはもともと大好きだったので、性に合っていたのだと思います。

美術部にはルールがいくつか存在していました。あだ名で呼び合うこと、男子部員は女性の扱い心得を守ること。(女の子の荷物はさりげなく持つ、髪型が変わっていたらすぐに褒める。など)それから、入るときの挨拶は「ただいま」。部室はホーム。教室という戦場で毎日の授業や補習と戦い疲れて帰る第二のホーム。だから勿論「おかえり」と返すのもルール。

心のアートピア

命名・カエサル

15人入ったら身動きとれないような図工準備室とその隣の大きな図工室が部室でした。基本は準備室で大きな作業は図工室。本棟の4階片隅。準備室には授業で使うとおぼしき石膏のトルソだとか（世界史で覚えた偉人の名前を勝手に付けて愛でていた）、珍妙なオブジェとか教本や図版、ぼろぼろのカンヴァスなどの画材やイーゼルがひしめいていて、絵筆や絵の具、色鉛筆やコピックが机に散らばって、壁には歴代の先輩達の絵や、謎の御触書が無造作に貼り付けられていました。部屋の角のラックにケトルとトースターあって、いつでもお茶会が出来るようにポットやソーサー、茶葉類とお菓子が仕舞ってありました。あちこち埃で、顔料達が酸化してあからさまな古い匂いを漂わせてるし、漁れば漁るほど古い物が見つかるから、まるで時間が堆積した地層のような部屋。汚く、魑魅魍魎が息を潜める小さな部屋の雰囲気が好きで、そこで皆で窮屈そうにわいわい過ごすのが一日の楽しみでした。隣の図工室はただの教室だけど、窓からの景色はとても良く（田園風景、高架高速道路が遠近法で重なって、傍の体育館の屋根上をミニカーが走るように見えるのもお気に入りでした。

普段はのんびりそれぞれ自分のモチーフに沿って自由に制作し、展覧会に向けて作業したり、時間が無いときは絵しりとりや落書きをして遊んだり、いかにも「美術部」という活動をしていました。

しかし、個性豊かで突飛なメンバー揃いで、しかも日中は鬱屈していたから（補習も授業もしんどかった）、いつも「楽しいことをしたい！」とうずうずしていました。行事が少ないなら作ればいいじゃない。その発想の賜物がお茶会だったようです。代々受け継いでいる会でした。制作は休憩して、お菓子を作ってきてレクをする日。大富豪して、「今日世界史でやったから、階級は元老院と貴族院ね！」と、でたらめにはしゃぎました。

「楽しいことをしたい」という考えは、「自分たちが楽しむ」にとどまりませんでした。体育祭で運動部だらけの部活動対抗リレーに参加する（けど走らないで歩く）くらいには目立ちたがりの大人しくしていられない文化部だったので。作品発表は基本的に夏の学校祭のみだけれど、「自分たちが描いた物を見てもらうだけじゃなく、皆で楽しめる参加型の展示ができたらいいね」という先輩の発言から新たに「冬展」を企画しました。どんな作品でもOK、部員以外でも参加希望者を募って作品を集めて、校内の掲示許可を得て、廊下や掲示板などに作品を飾る。展示が終わった作品は希望者に引き取ってもらう。というものでした。新しいことに内心どきどきしていたから、「美術部が学校をジャックします！って宣伝放送入れてくる！」って意気込んで行ったけど言えなくて地味な宣伝になったり、締め切り守れないメンバーだらけでばたばたしたり。冬には何も行事がない学校だったので、「○○先生の落書き（希少価値）」といったように、先生も含め予想より多くの人が参加して楽しんでくれてとても嬉しかったのを覚えています。

まだまだ沢山の思い出があります。ばかだなぁとか些末だなぁと思える小さなことも数えたら毎日が思い出だらけです。それらは道ばたでやたらめったら拾い集めた小石みたいなもので、他の人が見たら何でも無い事ばかりだけど、自分にとっては大切なものばかりです。

部員はみんな美術部を「アートピア」と呼んでいました。昔の先輩がつけた名です。ユートピア（理想郷）とアート（美術）を掛けてアートピア。強烈にクレイジーでカオスな小さな世界。

「おもしろき　こともなき世を　おもしろく　住みなすものは　心なりけり」

あの頃は知らなかった言葉だけれど、アートピアにはきっとこの精神があったと思います。今も大切にしたいものです。

部員感想 特集感想

＊かつてバレンタインさんが処刑された日がバレンタインデーという恋人達の祭典に…！初耳でした。（木全）

＊バレンタインの起源が悲惨すぎて、知ってしまうと今まで通りイベントが楽しめない。（今井）

＊バレンタインデーがバレンタインの処刑された日と聞いて、今はプレゼントをする日…昔から今でとても変わっていてとても驚きました。（岩田）

＊「リア充がさらに充実する日」は言え得て妙だ!! ″はがない″のように友達の少ない非リアも結構みじめな日です。（足立）

郷土歴史 感想 道の記

＊貝塚資料館で見た人骨が印象的でした。まさかそのまま展示されているとは…。ちょっとぞっとしましたが、珍しい経験ができました。（木全）

＊今回は女子4人の女子組で行ってきました!!私にとって最後の取材旅行でした。清州城を見て回り、信長ラーメンを食べ、城跡に行き、昔の人々が感じた空気を感じることができたかなと思いました。清須に訪れることができて充実した一日をおくることができました。（岩田）

＊清洲城は予想以上にスゴかった!!2階には清洲城新聞があり、細部にも凝っていて『女性自身』ならぬ『戦国女身』のグラビアもあり傑作だった。（足立）

西高HPリニューアル

昨年暮れ、西高のホームページがリニューアルしたことをご存じだろうか。新しいホームページは今までのどこか野暮ったいイメージを払拭するかのようにスッキリとしたデザインとなっている。

トップページには校内の四季の写真がうつされ、上部のプルダウン式メニューと下部の両サイドメニューから見たいページを選べるようになっている。今までのホームページに比べメニューが大きく探しやすい。目をひく四季の写真には生徒が撮影した写真も使われているそうだ。

今回注目したのは「What's New」で取り上げられていた「行事」についてだ。今号の新聞で取り上げた予餞会の様子はもちろん、始業式や3年生のセンター試験の様子などもアップをされていた。生徒は行事の写真を見て楽しむことができるだろう。さらにこれらの写真はこれから西高を受験しようと考えている中学生にも西高がどんな学校なのかを知ってもらえるいい材料になるだろう。

情報化の時代において、西高をどのようにアピールしていくのか。新ホームページのこれからに期待したい。

西高の新ホームページ

西高新ＨＰアドレス

http://ichinomiyanishi.sakura.ne.jp/

編集後記

＊今回は特集記事を担当しました。みなさんの色々な本音を知ることができて、なかなか楽しかったです。（木全）

＊前の新聞を見返していると、こんなに書いてきたんだなぁと実感しました。新聞の記事を書くのは大変だけれど、それだけ力がついたかなと思いました。新聞部でよかったです。（岩田）

＊自分にとっては最後の新聞発行なので気合いが入りました。（今井）

＊3年生のみなさん。高校は卒業でもでも、青春は卒業ではありません。また次の青春にのって下さい！ごめんね、ではなく「ありがとう青春！」（足立）

新聞部員大募集中！ 兼部OK

予餞会 センパイありがとう！

参加者全員マスクという超厳重なインフルエンザ警戒体制のもと、1月23日、愛知文理大学文化フォーラムで予餞会が開かれた。

まずは、1年生の中で唯一予選を勝ち抜いた1年1組の合唱。赤いリボンと感謝と、少しばかりの不安を胸にした40人の清らかな歌声がホールを包み込んだ。

1年1組　合唱

合間に各クラスの個性と笑いにあふれる3分間スピーチを挟みながらプログラムは進行した。

劇は四者四用、時代劇タッチのもの、コメディー、シリアス系と様々で、笑い、考え込み、時に涙ぐんだ。最後の先生の出し物で、オープニングはゲラゲラポーのうたで、会場は熱狂した。「学園天国」を参加者全員で歌い、あっという間に2時間の時は過ぎた。（足立）

2年8組　ぼくらの

生徒会より

会長　若園拓海

1、2年生の皆さん、お疲れ様でした。どの劇、合唱、3分間スピーチも素晴らしく、先輩方への熱い思いが伝わってきました。3年生の皆さん、後輩たちからのエールを胸に、これからも自分の目標に向かって頑張ってください!!皆さんの人生に幸多かれ!!!

副会長　服部秀平

3年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。先輩方には部活、西高祭の時など、多くの場面でお世話になりました。これからも「西魂」を忘れずに頑張ってください。そして、2年間ありがとうございました。

2年3組　銭形平次捕物控

書記　中島徹也

予餞会が終わって、選考会で全クラスの発表を見た時にどのクラスも工夫していて、3年生に対する思いの強さにまた一つ西高の伝統を感じました。3年生の先輩方、どんな事があっても最後まで諦めないでください!!

2年5組　きょうは学校休みます

会計　倉橋うららら

私は予餞会を通して、先輩に対する1、2年の思いとはとても熱いものだと知り、感激しました。本番に出たクラスもそうでないクラスも本当に一生懸命でした。この思いを受け取った先輩方が、自分の望んだ道に進めることを祈っています。

2年6組　未来

3分間スピーチ